

別表1 審査の評価基準

項目	評価項目	審査項目	配点
提出書類の審査	業務実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策実行計画の策定又は改定及び省エネ診断業務等の実績</li> <li>環境省地方公共団体カーボン・マネジメント強化事業の受託の実績</li> </ul>	15
	担当者実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策実行計画の策定又は改定及び省エネ診断業務等の実績</li> </ul>	
	業務体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当技術者を含めた実施体制、支援体制、役割分担等の具体的内容</li> </ul>	
企画提案書	策定支援のスタンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策計画策定支援の基本的な考え方の具体性、国の支援マニュアルとの整合性、市における有意性</li> </ul>	55
	目標設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の地球温暖化対策計画との整合性</li> <li>目標設定方法の具体性、有効性</li> </ul>	
	重点施策等設定手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>重点施策及び具体的取組項目の設定にかかる具体性、有効性</li> </ul>	
	点検評価手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>取組を点検評価する手法の具体性、有効性</li> </ul>	
	省エネ診断	<ul style="list-style-type: none"> <li>省エネ診断の内容の具体性、有効性</li> </ul>	
	温室効果ガス算定手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>温室効果ガス排出量算定方法の具体性、有効性</li> </ul>	
	推進体制検討手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>カーボンマネジメント推進体制の検討に関する具体性、有効性</li> </ul>	
	2号事業の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>2号事業への支援姿勢</li> </ul>	
	業務工程及び実施体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>スケジュールの効率性、効果性</li> </ul>	
自由提案	省エネ診断内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象施設の選定理由、選定数</li> </ul>	10
	職員への啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員意向調査、職員説明会の内容、具体性</li> </ul>	
プレゼンテーション及びヒアリング	プレゼンテーションにおける説明状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案内容の把握、説明の明確性</li> </ul>	10
	ヒアリングにおける回答状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>質問に対する回答の適正さ、明確性</li> </ul>	

価 格	提案価格	・ (全提案者中の最低見積額) / (提案者の 見積額) × 10点で算出した点数 (小数第 2位の四捨五入)	10
合 計			100

- ・ 上記の項目を、審査委員が1人当たり100点満点で採点する。
- ・ 各審査委員の合計を総合点とし、総合点が最も高い事業者を最優秀提案者として選定する。
- ・ 総合点が最も高い事業者が2者以上ある場合は、企画提案書の評価点が高い事業者を、最優秀提案者として選定する。
- ・ 企画提案書の評価点も同点の場合は、審査委員で協議し、最優秀提案者を決定する。
- ・ すべての参加事業者の総合点が60点に満たない場合は「該当者なし」とする。

**【提出書類の審査の評価基準】**

各評価項目は、「優れる」「普通」「劣る」の3段階で評価する。

**【企画提案書の評価基準】**

各評価項目は、「非常に優れる」「優れる」「普通」「やや劣る」「劣る」の5段階で評価する。

**【プレゼンテーション及びヒアリングの評価基準】**

各評価項目は、「優れる」「普通」「劣る」の3段階で評価する。